

# 酵母状真菌に対する各種抗真菌薬の感受性率 (2005-2008年の血液培養由来臨床分離株)

	株数	AMPH-B <sup>*1</sup>	5-FC	FLCZ <sup>*2</sup>	ITCZ <sup>*3</sup>	MCFG <sup>*4</sup>	VRCZ <sup>*5</sup>
<i>C.albicans</i>	22	100	100	100	59	100	100
<i>C.glabrata</i>	10	100	100	30 <sup>*6</sup>		90	63
<i>C.guilliermondii</i>	3	100	100	100		67	100
<i>C.krusei</i>	3	100				100	100
<i>C.parapsilosis</i>	17	100	100	100	12	100	100
<i>C.tropicalis</i>	2	100	100	50		100	50
<i>Cr.neoformans</i>	2	100 <sup>*7</sup>	50 <sup>*7</sup>	100 <sup>*7</sup>	100 <sup>*7</sup>		100 <sup>*7</sup>
<i>Trichosporon sp.</i>	3	33 <sup>*7</sup>		100 <sup>*7</sup>			100 <sup>*7</sup>

## 略号：

AMPH-B：アムホテリシンB  
5-FC：フルシトシン  
FLCZ：フルコナゾール  
ITCZ：イトラコナゾール  
MCFG：ミカファンギン  
VRCZ：ポリコナゾール

- \*1：判定基準が設定されていないので仮の判定基準（MIC≤1μg/ml）を用いて算出
- \*2：口腔咽頭カンジダ症および非好中球減少患者の侵襲性カンジダ症を対象とした判定基準で算出（侵襲性カンジダ症の判定基準は設定されていない）
- \*3：口腔咽頭カンジダ症のみを対象とした判定基準で算出（侵襲性カンジダ症の判定基準は設定されていない）
- \*4：48時間培養のMICを用いて判定（判定基準は24時間培養で設定されたものを使用）
- \*5：非好中球減少患者のカンジダ血症を対象とした判定基準で算出（好中球減少患者を対象とした判定基準は設定されていない）
- \*6：感受性と判定された場合であっても最大投与量での治療が必要
- \*7：カンジダに対する判定基準で算出した場合の感受性率（本菌に対する判定基準は設定されていない）

## 感受性率表の見方：

色	感受性率
■	90% - 100%
■	70% - 89%
■	50% - 69%
■	49%以下
■	5%以下、あるいは保健適応外菌種など

数値のみ  
空白